

地域社会と連携しながら継続的に環境美化に取り組む全国の小・中学校を表彰

「第22回 環境美化教育優良校等表彰事業」 最優秀校4校ほか決定

【最優秀校】

文部科学大臣賞	秋田県	秋田県立 ^{ひない} 比内支援学校	たかのす校
農林水産大臣賞	福岡県	朝倉市立 ^{ひなしろ} 蜷城小学校	
環境大臣賞	新潟県	新潟市立 ^{まさご} 真砂小学校	
協会会長賞	宮崎県	延岡市立 ^{おかとみ} 岡富中学校	

清涼飲料・ビールなど飲料業界6団体で構成する、公益社団法人食品容器環境美化協会（略称：食環協、会長：平岡 敬規）では、本年度の「環境美化教育優良校等表彰事業」において、都道府県より推薦を受けた全国の小・中学校等の中から最優秀校4校、優秀校6校、優良校25校を選定し、表彰いたします。

この表彰事業は、独創的な環境美化教育に継続的かつ熱心に取り組み、地域社会と連携しながら「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践することにより、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校を選出し表彰するものです。

最優秀校4校は、都道府県より推薦された中から審査委員会による厳正な審査を経て、「文部科学大臣賞」「農林水産大臣賞」「環境大臣賞」「協会会長賞」にそれぞれ決定いたしました。なお、小学校と中学校は、部門を区分せずに審査、表彰しております。

今回の最優秀校の中でもとりわけ特色のある活動を行っているのが、通学路にもなっている五ヶ瀬川堤防を舞台に、多様な環境美化活動に取り組んでいる宮崎県延岡市立岡富中学校です。散乱ごみが多く、殺風景だった堤防を、憩いの場にしようと桜を植樹した住民の功績を伝えるために、生徒が中心となってそのことを紙芝居にしました。それを使って、小学校や幼稚園に出向き、読み聞かせを行いながら広く発信しています。また、市民手づくりの祭り「延岡花物語」では、毎年、生徒が堤防に風車を設置し、環境意識向上をアピールしています。昨年は、他校にも呼びかけて、全部で1500本もの風車が堤防を彩りました。今では多くの観光客が賑わう市の名所になるなど、美化活動を通じて、街の活性化にも寄与していることが高く評価されました。

最優秀校に決定した他の3校においても、地域の環境を守るために自分たちができることは何かを考え、児童・生徒が先頭に立って校区の清掃、花の植栽などに励む姿が際立っていました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、地域行事や交流活動が中止になる中、規模を縮小しつつも工夫を凝らして美化活動を継続しているのも、受賞校の特徴です。さらに、海洋汚染問題の解決に向けて、ごみが海へ流れ出る前に、川や湖沼、運河などで清掃活動を行う学校も目立ちました。

なお、最優秀校4校に対する表彰授与につきましては、昨年につき本年度も、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、一堂に会した会場での式典開催を中止し、これに代えて各受賞校において表彰伝達式を行うことについて各受賞校とご相談する予定です。

例年、最優秀校の活動の様子は、表彰式典において動画でご紹介しているところですが、式典開催中止を受けて本年度も、当協会HPにて随時掲載してまいります。生き生きと取り組む児童・生徒の前向きな姿や教師の思い、サポートする地域住民の熱意を、インタビュー映像や写真を通してお伝えしてまいりますので、ぜひ、ご高覧下さいませようよろしくお願い申し上げます。



公益社団法人食品容器環境美化協会は、1973年に設立されて以来48年の間、飲料容器の散乱防止とリサイクル推進の啓発を中心とした環境美化の推進に努めてまいりました。日本の環境が美しくなることを目的として、「環境教育の支援」、「ポイ捨て防止の啓発」、ならびに「アダプト・プログラムの推進」などの事業を展開しています。

「環境美化教育優良校等の表彰」は、「環境美化教育の助長」及び「地域の環境美化の啓発」を目的に2000年度から開始し、本年度が22回目となります。

この間、地域の環境美化やリサイクル推進に積極的に取り組む小・中学校を表彰し、これら各校の児童・生徒の活動を励ますとともに、その活動を広く紹介してきました。同時に、環境美化教育の全国における活性化にも寄与してまいりました。

環境教育への取り組みが年々重要になる中で、本年度も全国の都道府県から、独創的な環境美化教育に熱心に取り組む、校内だけでなく地域社会と連携して環境美化に大きく貢献する活動の実践に努めている小・中学校が多数推薦されました。これら各校の活動内容を、審査委員会において厳正に審査した結果、このたび4校が最優秀校、6校が優秀校、25校が優良校として選定され、表彰の運びとなったものです。

■本年度の各都道府県からの推薦状況

第22回は、環境美化につながる散乱防止活動またはリサイクル推進活動を継続している小学校・中学校から都道府県が1校を推薦する方式

	合計
推薦があった都道府県数	35
推薦校数	35

■本年度審査結果

審査委員会による審査の結果、受賞校を以下の通り決定

	受賞校数
最優秀校	4
優秀校	6
優良校	25

最優秀校に決定した4校の活動概要およびその他各賞の受賞校は以下の通りです。

■最優秀校の活動概要（詳細はP7以降参照）

環境美化につながる散乱防止活動またはリサイクル推進活動	
文部科学大臣賞	<p>秋田県立比内支援学校 たかのす校^{ひない}</p> <p>“地域をフィールドに、地域で学び、地域と学び、地域に貢献する学校”を目標に掲げ、地域学習に力を入れている同校。中学部では、その一環として、「みんなのためにプロジェクト」と名付けた活動を2014年から開始している。「自分たちが日頃お世話になっている場所をきれいにしよう」と、清掃や除草、除雪活動などに取り組む。通学路以外に、周辺道路、最寄りの駅やバス停などの公共の場所でも実施。活動成果が目に見えるように、清掃活動前と活動後の記録画像を比較したり、回収したごみの分別や計量を行うなど、工夫を凝らしながら、環境への意識向上に努めているのが特徴だ。また、清掃や除草活動は、ごみが出る雪解け直後、雑草が茂る夏、降雪前後の年4回実施、住民からは感謝のメッセージが届き、生徒は達成感を味わっている。他の活動への意欲にもつながり、地元開催の米代川花火大会後の河川敷清掃活動にも参加、地域に根差した取り組みに発展している。</p>
農林水産大臣賞	<p>福岡県 朝倉市立蜷城小学校^{ひなしろ}</p> <p>1953年の豪雨災害をきっかけに、青少年赤十字団を結成して以来、68年の長きにわたり青少年赤十字活動（JRC）に取り組んでいる。その中心となるのが、毎週水曜日に行っている、通学路のポイ捨てごみを回収するごみ拾い登校、「VS（ボランティアサービス）登校」だ。同時に、授業開始前の朝の時間に、校区の神社などの清掃活動「VS活動」にも励んでいる。ともに年間40回ずつ実施、活動の前後で「自分でできること」を考え、振り返ることで主体的に取り組む意欲が育まれている。古くから農業が盛んな地域でもあり、回収したごみには、ビニールハウスの破片や肥料袋といった農業関連のごみが目立つ。そのごみをなくすには、地域の協力が欠かせないことを児童は痛感。積極的に地域に出向き、住民とともに花壇の整備をしたり、地域を流れる川の清掃を行ったりしながら交流を深めている。自発的な美化活動を通じて「奉仕は当たり前」の精神が代々受け継がれている。</p>
環境大臣賞	<p>新潟県 新潟市立真砂小学校^{まさご}</p> <p>日本海や佐渡島をのぞむ恵まれた環境にある同校では、地域が誇る景勝を守るためにさまざまな美化活動に取り組む。中でも、漂着ごみを回収する海岸清掃は、26年続く伝統行事として知られている。単にごみを回収するだけではなく、地域の環境を守る手立てを考え、行動力が身に付くように、系統的に進めているのが特徴。清掃前には、地域の浜辺「小針浜」を事前調査し、ごみが散乱していることを確認する。清掃時は、4年生がごみの調査を実施。海上保安部職員の指導のもと、回収したごみを分類し、種類別にグラフ化している。清掃後は、児童自ら問題解決方法を考えて、海岸のごみをなくすための啓発ポスターを作成。地域にアピールするため、店や病院、郵便局などに出向いて、ポスターの掲示を依頼している。海岸のごみは徐々に減少、手応えを実感しながら児童は、住民とともに、砂防林の保全にも取り組み、地域の一員として環境改善に寄与している。</p>
協会会長賞	<p>宮崎県 延岡市立岡富中学校^{おかとみ}</p> <p>ふるさとの良さを「探す」「創る」「発信する」活動の一環として、地域社会と連携しながら、校区の堤防沿いや神社などの清掃活動に取り組んでいる。通学路の五ヶ瀬川堤防（コノハナロード）では、NPO法人コノハナロード延岡市民応援隊のメンバーとともに、市民の憩いの場所となるよう、多彩な美化活動を実践している。そのひとつが、堤防のポイ捨てごみの回収と、花壇整備活動だ。高齢化が進む地域団体は、中学生が参画することにより、活動の継続と、地域活性化につながると期待を寄せている。また、市民手づくりの祭り「延岡花物語」では、生徒が堤防に沿って環境意識向上のシンボルとして掲げる風車を設置。その際は、市内中学校にボランティアを募り、他校の生徒と交流しながらイベントを盛り上げている。こうした活動の傍ら、生徒は小学校や幼稚園で環境教育出前授業を実施するなど、環境問題を自分事として捉え、地域を巻き込む姿勢が内外から高く評価されている。</p>

■その他受賞校:

<優秀校> 6校

青森県 はしかみ どうぶつ 階上町立道仏小学校
 岐阜県 ぐじょう はちまん 郡上市立八幡中学校
 鹿児島県 たるみず まつがさき 垂水市立松ヶ崎小学校

東京都 こうなん 港区立港南中学校
 大分県 ぶんごたかだ またま 豊後高田市立真玉小学校
 沖縄県 にしほら さかた 西原町立坂田小学校

<優良校> 25校

岩手県 かまいし かまいしひがし 釜石市立釜石東中学校
 山形県 ゆのはま 鶴岡市立湯野浜小学校
 茨城県 ほこた あさひきた 鉾田市立旭北小学校
 群馬県 なかお 高崎市立中尾中学校
 石川県 あなみず あなみず 穴水町立穴水中学校
 山梨県 みのぶ しもやま 身延町立下山小学校
 静岡県 すみよし 吉田町立住吉小学校
 三重県 よっかいち みえにし 四日市市立三重西小学校
 兵庫県 にしわき くらだしょう 西脇市立黒田庄中学校
 和歌山県 たなべ かみあきづ 田辺市立上秋津小学校
 徳島県 あなん いしま いしま 阿南市立伊島小学校・伊島中学校
 高知県 くろしお さが 黒潮町立佐賀中学校
 佐賀県 佐賀県立うれしの特別支援学校 中学部

宮城県 やもとにし 東松島市立矢本西小学校
 福島県 おの 田村郡小野町立小野中学校
 栃木県 なす たしろゆうあい 那須町立田代友愛小学校
 富山県 ひみ なだうら 氷見市立灘浦小学校
 福井県 かいせい 大野市開成中学校
 長野県 すわ すわ 諏訪市立諏訪中学校
 愛知県 みなみちた しのじま 南知多町立篠島小学校
 大阪府 ねやがわ だいじゅう 寝屋川市第十中学校区
 奈良県 かしはら うねび 橿原市立畝傍中学校
 山口県 うべ ふじやま 宇部市立藤山中学校
 愛媛県 ひうら 松山市立日浦中学校
 長崎県 みなみしまばら くちのつ 南島原市立口之津小学校

■表彰授与

●最優秀校・優秀校・優良校は、各地にて、食環協地方連絡会議員が相談の上、各受賞校にて表彰伝達式を開催する予定です。

環境美化教育優良校等表彰事業の概要

- 主 催：公益社団法人 食品容器環境美化協会
- 後 援：文部科学省、農林水産省、環境省
- 表彰の対象：環境美化教育に独創的・継続的かつ熱心に取り組み、「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校、およびこれに準ずる小・中学生の団体（以下「小・中学校」）
- 表 彰：
- | | | |
|------|---------|----|
| 最優秀校 | 文部科学大臣賞 | 1校 |
| 最優秀校 | 農林水産大臣賞 | 1校 |
| 最優秀校 | 環境大臣賞 | 1校 |
| 最優秀校 | 協会会長賞 | 1校 |
- ・賞状と副賞を贈呈
- ・上記の他、「優秀校」、「優良校」に対し、協会会長賞として賞状と副賞を贈呈
- 推薦・審査：
- 都道府県の環境整備主管部局、または教育主管部局が推薦する小・中学校を審査委員会で審査
- 審査委員：
- [審査委員長] 小澤 紀美子 東京学芸大学名誉教授・東海大学大学院客員教授
- [審査委員] 小澤 孝行 公益財団法人 日本環境協会 専務理事
- 國分 重隆 全国小中学校環境教育研究会 顧問
- 東京都教職員研修センター研修部教育開発課 教授
- 小島 あずさ 一般社団法人 JEAN 事務局長・副代表理事
- 栗原 博 公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会
代表理事常務
- 関根 理恵 公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員
- UCCホールディングス株式会社
サステナビリティ推進室 課長
- 渡邊 隼人 公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員
- コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
経営改革本部 コーポレートコミュニケーション統括部
CSV推進部 政策渉外課 課長

(敬称略)

公益社団法人食品容器環境美化協会の概要

- 1973年（昭和48年） 任意団体「食品容器環境美化協議会」として発足
- 1982年（昭和57年） 社団法人「食品容器環境美化協会」（農林水産大臣設立認可）
体制整備を図り、事業活動を強化するため公益法人化。
- 2011年（平成23年） 公益社団法人「食品容器環境美化協会」（内閣府認可）
公益法人制度の改革に伴い、内閣総理大臣から公益社団法人の認定を受け、
「公益社団法人」として再発足。

- 主な活動：○新しいまち美化手法「アダプト・プログラム」の普及と推進活動
- 小・中学校でのパソコン学習支援サイト「まち美化キッズ」の運営、
教育者向け「環境美化 学習のガイド」の制作提供等の次世代への
環境教育支援 <https://www.kankyobika.or.jp/kids/>
- 市民団体等による環境美化活動への支援
- 「ポイ捨て防止」啓発活動
- 散乱ごみ対策の調査・研究 等

- 構成団体：一般社団法人 全国清涼飲料連合会 <http://www.j-sda.or.jp/>
清涼飲料メーカーなど企業会員 50 会員 85 社、組合会員 19 会員 152 社、
賛助会員 145 社からなる社団法人
- 一般社団法人 全国トマト工業会 <http://www.japan-tomato.or.jp/>
トマト加工製品メーカーなど 34 社からなる社団法人
- 一般社団法人 日本果汁協会 <http://www.kaju-kyo.ecnet.jp/>
果実飲料メーカーなど 122 会員からなる社団法人
- 日本コーヒー飲料協会
コーヒー飲料メーカーなど 19 会員からなる任意団体
- コカ・コーラ協会
日本コカ・コーラ社と全国のコカ・コーラボトリング社からなる任意団体
- ビール酒造組合 <https://www.brewers.or.jp/>
アサヒ、麒麟、サッポロ、サントリー、オリオンのビール 5 社による特別認可法人

■本件に関するお問い合わせ先■

公益社団法人食品容器環境美化協会（食環協）

〒108-0023 東京都港区芝浦 2-15-16 田町 K.S ビル 6 階

TEL. 03-5439-5121 FAX. 03-5476-2883

ホームページ <https://www.kankyobika.or.jp/>